

糖尿病だより

2014年
10月 No.35



糖尿病と「感染症」のおはなし

感染症とは病原体（細菌・ウィルス・カビ）によってもたらされる病気のことです。血糖値が高いと白血球の働きが悪くなるなど免疫の力が低下し、感染症にかかりやすく、重症化しやすく、治りにくくなります。普通ならすぐに治る病気でも命に関わることもあります

命を守るためにいつも糖尿病を良好にコントロールする必要があります



感染症にかかると血糖値が普段より上昇することが多いです

体調がいつもと違う時は、血糖測定や尿糖測定をしましょう



自己判断で薬物療法を中断しない

1型糖尿病やインスリン治療中の場合は自己判断でインスリンを中断してはいけません。

血糖値にあわせてインスリンを追加することもあります。どうしたらいいかわからないときは受診しましょう



水分をしっかりとしましょう

血糖値が高い時は糖質のっていない水分を十分に飲む必要があります。

嘔吐で水分が十分にとれない時はすぐに点滴が必要です。すぐ受診しましょう。



よくある失敗談

「風邪気味だから栄養をつけたほうがいい」と思って、栄養ドリンクやカロリーの高いものを食べた。しかし、高血糖を引き起こし病気がこじれて入院・・・

いつもと同じバランスのとれた食事を心がけることが重要です



糖尿病のコントロールには食事・運動などの生活習慣を変えることと、その継続が欠かせません。皆様の糖尿病療養に役立つ情報をこの「糖尿病だより」で発信していきます。

糖尿病療養指導スタッフ一同

国立病院機構 姫路医療センター

